

原発 **〇** にむかって

2012年11月21日 No.39

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel : 03-5978-2741 fax : 03-5978-2865 mail : sien@tokyominiren.gr.jp

雨ニモマケズ! 11.11反原発1000000人大占拠



11月11日(日)、首相官邸前・国会議事堂周辺一帯で、「政府に『原発ゼロ』の英断をさせ、再稼働を許さず、全原発即時廃止を実現するために、100万人規模の強大な声をたたきつけましょう!」との呼びかけのもと、大規模な抗議行動が行われました(主催:首都圏反原発連合)。

この行動は、この間続けられている毎週金曜の首相官邸前をはじめとする抗議行動など、一人ひとりの市民による懸命な運動の結節点と言え、あいにくの雨天でしたが、民医連からも多くの参加がありました。

国会議事堂前のメインステージでは、各党議員のほか、鎌田慧さん(ルポライター)、湯川れい子さん(音楽評論家)、津田大介さん(メディア・アクティビスト)、宇都宮けんじさん(元日本弁護士連合会会長)らがスピーチに立ちました。

宇都宮けんじさん「一緒に原発のない社会を」

弁護士の宇都宮けんじさんは、「2日前に都知事選挙に出馬表明をしました! 東京は福島原発の最大の消費地で、都は東京電力の大株主。東京都や都民は、福島原発の被害者を全力をあげて支援・救済する責任があると考えます。都知事になったら全力をあげて被災者支援を頑張りたい!」二度と原発事故を起こしてはならない。事故が起きると日本社会が崩壊してしまう。まず首都東京から脱原発をめざす。東京が変われば日本が変わる、日本が変われば世界が変わります。原発がない社会は人にやさしい社会。人にやさしい東京を、日本を、世界をつくるために頑張っていきたい。一緒に原発のない社会をつくるため、頑張っていきましょう!」と訴えられました。



©森住卓



宇都宮けんじさんとともに

東京から新しい政治の風を巻き起こし、憲法がいきる人にやさしい東京を実現しましょう!

東京民医連は、きたる東京都知事選挙にむけて、上記アピールを発信しました。宇都宮さんが立候補にあたり掲げた、

- ①誰もが人らしく、自分らしく生きられるまち、社会をつくります
 - ②原発のない社会へ～東京から脱原発政策をすすめます
 - ③子どもたちのための教育を再建します
 - ④憲法のいきる東京をめざします
- …以上の4つの柱は、東京民医連の要求とぴったり一致するものです。宇都宮けんじさんとともに、今こそ、東京から新しい政治の流れのうねりをつくりだしましょう!